

令和8年度

ESD・SDGs出前授業

未来のみんなが今と同じように地球で暮らしていくために、「私たち」にできることは？



申込期間 2026年5月1日～2026年12月25日

授業期間 2026年6月1日～2027年2月12日

時間 1回2コマ以内(45～50分/コマ)
※各校年間2回まで

対象 岡山地域の小学生・中学生・高校生

費用 無料 ※備品の準備や資料の印刷等は、原則、学校にて対応ください。

人数 原則、クラス単位
※学年単位は相談ください。少人数グループの授業は、お断りすることがあります。

流れ 申込書送付 → 相談・講師調整 → 打ち合わせ → 授業実施 → 報告書提出

授業希望日の**1か月前まで**にフォームまたはFAXで申込。

授業内容等の詳細を講師と直接打ち合わせ。

アンケートと報告書を**2週間以内**に提出。

岡山ESD推進協議会

●ESD・SDGs出前授業とは？

気候変動の影響をひしひしと体感する昨今。子どもたちが生きる未来を幸せなものにしていくために、岡山地域の児童・生徒を対象にしたSDGsに関する出前授業を無料で実施します。

SDGsの達成に向けて様々なテーマで取り組んでいる講師が、実践を踏まえた授業を行います。

貴校でのESDの取組として、ぜひご活用ください。

実績

R7年度

29回(小学校19、中学校4、高校6)
児童・生徒 1,993名

R6年度

35回(小学校25、中学校4、高校6)
児童・生徒 2,474名

授業内容は、気候変動のテーマに限らず学校のニーズに応じてできるだけ柔軟に検討します。

詳しくは、SDGsネットワークおかやまHP「ESD・SDGs出前授業」に掲載している講師の情報や実施要項などをご覧ください。



注目

気候変動に関する学習を始めませんか？

気候変動をひとつの切り口に、SDGsと未来の社会を考える授業を展開します。

- 酷暑で屋外の体育の授業や部活動が困難
- 農産物の収穫量によって変わる給食
- 自然災害の増加による休校や通学路の被害

少し考えてみるだけでも、気候変動の影響は既に学校生活のいたるところで表れています。

「気候変動対策はSDGs達成の鍵」とも言われています。今まさに私たちが学びを深め、行動に結びつけることが求められている重要なテーマです。

出前授業では、多様なニーズに合わせて、

- 気候変動に特化した授業を実施できる講師
- 気候変動に関連する多様なテーマでSDGsに関する取組を行っている講師

が、岡山県内の小中高等学校で授業を行います。



…気候変動に関連する授業

講師 (五十音順)

1 認定NPO



認定NPO法人AMDA社会開発機構

世界の多様性と格差からSDGsを学ぼう
-「誰一人取り残さない」世界の実現に向けて
今、私たちが知るべきことややるべきこと-

世界の多様性や格差、干ばつなどが農業に与える影響について学び、遠い世界を身近に感じることで、国際社会の一員として自分にできることを考え、行動に移すことを目指します。また、SDGsが日常生活に密接に関わるものであることを理解し、自分や教室と世界が繋がっていることに気づく機会を提供します。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)

12 つくば市



一般社団法人おかやまエコサポーターズ

サステナブルファッション
地球とひとにやさしい服の選び方

服をテーマに、私たちの選択や行動が気候変動や世界の人々の暮らしにどのように影響しているのかを考えると、各地で生じている課題の解決に向けた取組を紹介し、自身と家族の行動変容につなげることを目指します。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)

12 つくば市



有限会社ウイルパワー

地域と世界を元気にする資源循環の力
~「ごみ」を「役立ち」に変える仕組み~

ごみを上手に活用すれば、地域の役立ちが変わっていきます。リユースマンと一緒に“カッコいい未来”をつくるための授業を実施します。

みんなの嫌がるごみが、地域の役立ちに変わる最高にかっこいい文化にすることを目指して、ごみや不用品を通じて、環境と地域を考える場を提供します。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)

11 岡山県



OKAYAMAお片づけチームmomo

片づけ×防災 暮らしを守る工夫と実践

自分に必要なもの・こと・情報を取捨選択する力、管理し無理なく維持する力を身につける「片づけ」。気候変動により巻き起こる災害に備えるために、自分に必要なもの・こと・情報を知り、行動に繋げる「防災」。これらについて、体験型ワークで楽しく実践的に伝えます。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



公益社団法人倉敷青年会議所

SDGsの世界的な問題をより身近に

「2030 SDGsカードゲーム」や「水」をテーマにしたSDGs授業を実施します。次世代を担う子ども達が、ゴールに向けて行動すること、行動が習慣化することを目指します。

(※授業は12月末まで対応可)



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



株式会社ココピア

モノの「終わり」から考える地球の未来
～お片付けのプロが教える、ゴミと気候変動のヒミツ～

「遺品整理」や「ゴミ屋敷の清掃」など、家の片付けを専門とするプロの視点から、一軒の家の大量のゴミのリアルを伝えます。

・ゴミと地球温暖化のつながり
・モノの命を繋ぐ工夫
・心の片付けがいちばんのゴミ削減に
などを、現場の写真やクイズを交えて学んでいきます。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



一般社団法人コノヒトカン

子ども達と描く明るい未来、缶詰から始まる物語

缶詰「コノヒトカン」を題材に、SDGsのゴールに沿ったアクティブラーニング型授業を実施します。フードロスや貧困問題をテーマに、「今からできること」を考えていきます。

食の大切さや持続可能な未来への意識を育み、「自分ごと」として社会課題の解決に向けた第一歩を踏み出すきっかけを提供します。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



株式会社SANKO

夏も冬も快適に暮らせる健康・省エネ住宅

子どもたちが毎日過ごす「家」や「室内環境」について、

・なぜ家は暑くなるのか、寒くなるのか
(真冬でもトイレもお風呂場も寒くない家がある?)
・日本と世界の住宅の違い(気候や風土と断熱や気密の関り)
・健康(熱中症・ヒートショック)との関係
・省エネとCO₂削減のつながり などを学びます。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



NPO法人タブラサ

イベントごみと海洋プラスチック
～ごみのゆくえと私たちの責任～

私たちの身近なイベントごみがどのようにして海洋プラスチックごみとつながっているのかを考えます。プラスチックそのものが問題なのか、それとも、ごみが適切に処理されずに自然環境へ流出してしまうことが問題であるのか、などの様々な視点でごみの課題を一緒に考えていきます。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



長野紘貴

(※オンライン授業のみ)

SDGs×テクノロジー
「SDGsの仕事ずかん -未来編-」
「SDGs入門 -テクノロジー編-」

SDGsに沿って世界にはどんな問題があるのか、具体例を交えながらAIやグリーン技術などによって私たちの生活や仕事はどう変わるのかを紹介します。子どもたちが未来の仕事を考え、想像できるようになることを目指します。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



中平徹也

- ① 脱炭素社会の実現に向けた環境学習
- ② 持続可能な社会に向けて私たちにできること
- ③ 食品ロスの削減に向けた学習
- ④ ESD・SDGs入門講座
- ⑤ その他、エコに関する講座は何でも可

受講者に正しい情報を伝え、本当のことは何なのかを理解し、エコな活動を実践する人材を育成することを目指します。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



認定NPO法人ハート・オブ・ゴールド

ハート・オブ・ゴールドの活動
～スポーツと教育を通じた人材育成・自立支援～



団体の活動紹介を通じて途上国を理解し、自分たちができる国際協力の取組を考え、世界を知る一助とします。相手の立場に立つ事や継続する大切さ、みんなと協力する楽しさなどを知ることにつながります。

異文化を理解し、また、自分たち自身を理解する発見ともなり、身近なところから社会を変えていく喜びを経験しましょう。

対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



備前発条株式会社

ペーパークラフトの車を走らせよう

オリジナルのペーパークラフトで走る車を制作します。製造業の「ものづくり」を、紙やハサミ、輪ゴムを使って体験し、自分で作る難しさや喜びを経験しましょう。動力(エネルギー源)について理解する機会にもつながります。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



HIT-LAB (ヒット・ラボ)

みんなで考えよう地域の未来・地球の未来

SDGsを中心とした社会課題を取り上げながら、社会生活や協同性、豊かな感性を伸ばすプログラムを実施します。

ー過去の実績ー

児童労働、エシカル消費、食品ロス、地球温暖化、生物多様性等、幅広くわかりやすく伝えるワークショップや環境授業など。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



正宗幸子 ファッション de SDGs

※①~④の組み合わせも可能。

- ①洋服は、何からできている?ーファッションの歴史から学ぶSDGs
- ②世界のファッション業界のSDGs
ー地域の繊維産業や企業の現状
- ③“個性を活かす”スローファッションde自己実現
ーひとりひとりの内面・外面の個性の魅力を活かして3Rを推進
- ④見え方の多様性
ーすべての人の暮らしやすさにつながるユニバーサルカラーを学ぶ



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



公益財団法人水島地域環境再生財団

水島の公害と未来、環境再生のまちづくり

地域開発と暮らし・健康・まちづくりについて紹介します。大気汚染で苦しんだ水島で、公害を無くそうと動いた人々の取組、環境再生のまちづくりや、コンビニートの温室効果ガス排出量などから、未来を考える学びを提供します。ゲーム等を活用したワークも実施可能です。



対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)



Life is ESD視点による包括的性教育を学ぶ

助産師として、包括的性教育の観点から、あなた達は唯一無二の存在というメッセージを核に、「自分と他者が共に幸せになるためには」を考える力、伝える力、行動に移す力などを育みます。



ジェンダー・ウェルビーイング・平和・貧困などの切り口から、生き辛さを抱える人を減らしたり、応援することについて、ワーク等を交えて共に考えましょう。(※60~80分程度の授業が理想的)

対象 小1~2 小3~4 小学5~6 中学生 高校生

方法 座学 ワークショップ形式 オンライン授業
1コマ(45~50分程度) 2コマ(計90分程度)

ESD Education for Sustainable Development 教育の観点を生かし、持続可能な社会づくりを目指す取組です。将来にわたって安心して暮らせる社会の実現のために何が出来るかを学び合い、考え、行動する人を育てます。

SDGs Sustainable Development Goals 貧困や環境破壊、持続的な生産と消費など、地球のさまざまな課題の解決のために、2030年までに達成を目指す国際目標です。多様性豊かで包摂的な社会を目指し、「誰一人取り残さない」をキーワードに、未来を変えるために、先進国も発展途上国も、個人も企業も自治体も、世界中のみんなで行い取組みます。

申込・問合せ先

SDGsネットワークおかやま (事務局:特定非営利活動法人岡山NPOセンター)

◆申込方法

メール・FAX | 所定の様式に記入し、下記連絡先までお送りください。
専用フォーム | ホームページの専用フォームからお申込みください。

出前授業の詳細は、以下のホームページもご覧ください。

◆連絡先

〒700-0822

岡山市北区表町一丁目4-64上之町ビル3階 NPO法人岡山NPOセンター内

T E L | 086-224-0995 FAX | 086-224-0997

Email | sdgs.okayama@gmail.com

U R L | <https://sdgs-okayama.jp/demaeclass/>



SDGsネットワークおかやま